

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理部長 (氏名) 松本 俊二 (TEL) 03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,791	20.4	8	—	△35	—	△88	—
26年3月期第1四半期	2,318	△0.4	△140	—	△107	—	△25	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △145百万円(—%) 26年3月期第1四半期 49百万円(△32.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△7.85	—
26年3月期第1四半期	△2.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	13,309	4,397	32.7
26年3月期	13,908	4,213	29.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,351百万円 26年3月期 4,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	12,120	20.6	230	—	210	436.6	145	—	13.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

現時点における第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、不確定要素が多く、確定するに至っていないため、通期の業績予想のみ記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 極楽湯中国控股有限公司、除外 1社(社名) 1社

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	13,157,400株	26年3月期	11,728,000株
27年3月期1Q	917,675株	26年3月期	917,675株
27年3月期1Q	11,310,109株	26年3月期1Q	9,591,325株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動により減速しましたが、下げ止まりの兆しもでてきております。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズは底堅いものがあります。しかしながら、他社での「レジオネラ属菌」による死亡事故や燃料費や人件費をはじめとする諸コストの高騰を理由に閉店を余儀なくされる等の厳しい経営環境が続いており、それらの課題やお客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力が求められております。

このような状況の中、当社におきましては、売上高2,791百万円（前年同期比20.4%増）となりました。損益面につきましては、国内は回復途上にあるものの引き続き厳しい状況が続いている一方で、中国（海外）が大きく貢献した結果、営業利益8百万円（前年同期営業損失140百万円）、経常損失35百万円（前年同期経常損失107百万円）となりました。また、当第1四半期は特別利益が僅少だったことから、四半期純損失88百万円（前年同期四半期純損失25百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高2,206百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント損失（営業損失）は128百万円（前年同期セグメント利益11百万円）となりました。

当社の業績は、お盆や年末年始の休暇等の家族や人が集まる機会や天候及び気温等に影響される傾向があり季節的な変動があります。

第1四半期（4月～6月）については、上記の季節的要因から通期でみると収益は厳しい時期ではありますが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や来店客数の減少により既存店の売上高は減少したものの、新店（水戸店）がオープンしたことにより売上高は微増となりました。また、セグメント損失（営業損失）は、来店客数の減少をお客様単価の上昇や付帯サービス利用でカバーするまでに至らなかったことに加え、前年同期に比べ水道光熱費が上昇したことや新店の出店費用を計上したこともあり128百万円のセグメント損失となりました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高591百万円（前年同期比400.0%増）、セグメント利益（営業利益）は182百万円（前年同期セグメント損失100百万円）となりました。

中国における業績も国内と同様に季節的な変動があり、第1四半期（1月～3月）は通期でみると業績は比較的好調な時期と言えます。また、特に春節（旧正月）期間の業績が好調であったことに加え、収益計上期間が3ヶ月（前年同期は約2ヶ月）とフルに寄与したため、売上、利益ともに大幅に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ599百万円減少し13,309百万円となりました。これは主に、現金及び預金が694百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ783百万円減少し8,911百万円となりました。これは主に、新店の工事完成による建築代金の支払いにより未払金が504百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し4,397百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が222百万円、資本剰余金が157百万円増加し、新株予約権が48百万円減少したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、32.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

平成27年3月期第2四半期の連結業績予想につきましては、電力の供給不安や料金値上げ等による経済活動や個人消費への影響及びこれらが当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、未定としております。今後、慎重に精査した上で数値がまとまり次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月に中国における事業展開の統括を目的に極楽湯中国控股有限公司(香港)を設立しました。
その結果、当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868,094	3,174,007
売掛金	108,104	68,645
未収入金	11,359	2,172
たな卸資産	40,382	46,098
繰延税金資産	49,265	54,131
その他	213,816	250,245
流動資産合計	4,291,021	3,595,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,459,495	6,161,033
工具、器具及び備品(純額)	279,076	273,102
リース資産(純額)	4,602	3,831
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	1,488,540	922,630
有形固定資産合計	7,413,766	7,542,649
無形固定資産		
その他	208,347	200,052
無形固定資産合計	208,347	200,052
投資その他の資産		
投資有価証券	28,950	28,815
長期貸付金	94,248	90,240
繰延税金資産	523,559	483,445
敷金及び保証金	792,844	802,652
その他	560,570	570,864
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	1,995,672	1,971,517
固定資産合計	9,617,787	9,714,219
資産合計	13,908,808	13,309,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,243	257,229
短期借入金	-	200,000
1年内償還予定の社債	115,800	115,800
1年内返済予定の長期借入金	2,020,828	2,004,708
未払金	868,053	363,220
未払法人税等	39,307	34,349
前受金	810,605	687,585
賞与引当金	52,609	82,566
その他	316,523	293,064
流動負債合計	4,530,971	4,038,523
固定負債		
社債	342,900	342,900
長期借入金	4,091,248	3,793,156
退職給付に係る負債	88,490	91,376
資産除去債務	358,962	383,590
その他	283,035	262,132
固定負債合計	5,164,636	4,873,156
負債合計	9,695,607	8,911,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,053	2,283,143
資本剰余金	2,171,953	2,329,181
利益剰余金	△67,278	△156,093
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	3,809,590	4,100,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△999	△1,134
為替換算調整勘定	308,966	252,179
その他の包括利益累計額合計	307,967	251,044
新株予約権	95,643	46,703
純資産合計	4,213,201	4,397,841
負債純資産合計	13,908,808	13,309,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,318,234	2,791,545
売上原価	2,225,398	2,527,470
売上総利益	92,836	264,074
販売費及び一般管理費	233,247	255,379
営業利益又は営業損失(△)	△140,410	8,695
営業外収益		
受取利息	2,230	3,519
受取家賃	4,757	4,725
為替差益	37,426	-
協賛金収入	3,142	-
その他	5,233	6,228
営業外収益合計	52,790	14,473
営業外費用		
支払利息	16,466	24,700
為替差損	-	26,908
その他	3,159	6,980
営業外費用合計	19,626	58,589
経常損失(△)	△107,246	△35,419
特別利益		
新株予約権戻入益	81,352	4,652
その他	29	-
特別利益合計	81,382	4,652
特別損失		
固定資産除却損	72	198
関係会社株式清算損	48	-
特別損失合計	120	198
税金等調整前四半期純損失(△)	△25,984	△30,965
法人税、住民税及び事業税	6,705	23,325
法人税等調整額	△7,359	34,523
法人税等合計	△653	57,848
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,331	△88,814
四半期純損失(△)	△25,331	△88,814

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,331	△88,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,515	△135
為替換算調整勘定	73,669	△56,787
その他の包括利益合計	75,184	△56,922
四半期包括利益	49,853	△145,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,853	△145,737
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第1四半期連結累計期間において資本金が222百万円、資本剰余金が222百万円、それぞれ増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金は2,283百万円、資本剰余金は2,329百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,200,033	118,201	2,318,234	—	2,318,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,200,033	118,201	2,318,234	—	2,318,234
セグメント利益又は損失(△)	11,746	△100,400	△88,653	△51,756	△140,410

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△51,756千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの事業は、温浴事業ならびにこれらの付帯事業の単一事業であります。当第1四半期連結会計期間から、中国上海市にて「極楽湯 碧雲温泉館」の営業が開始し、当該店舗を事業セグメントとして認識するに至ったため、報告セグメントを「日本」及び「中国」の2つに変更しております。なお、極楽湯(上海)沐浴有限公司の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、同社の平成25年1月1日から平成25年3月31日までの業績が反映されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,200,495	591,049	2,791,545	—	2,791,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,322	—	6,322	△6,322	—
計	2,206,818	591,049	2,797,867	△6,322	2,791,545
セグメント利益又は損失(△)	△128,114	182,415	54,300	△45,605	8,695

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去11,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,867千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間からセグメント利益又は損失の調整額に含める全社費用項目の見直しを行っております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示したセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社株式の一部売却

当社は、平成26年7月30日開催の取締役会において、当社100%子会社である「Gokurakuyu China Holdings Limited (中国語名：極楽湯中国控股有限公司)」(以下、「香港子会社」という。)の株式49%を当社の筆頭株主である「Harvest Premier Investment Corporation」(以下、「HPIC」という。)に譲渡(売却)すること(以下、「本件」という。)を決議いたしました。

(1) 目的

当社は、平成26年5月27日の「HPICとの業務資本提携に関するお知らせ」にて公表した通り、HPICとの業務資本提携を進めております。本件は、当該業務資本提携の一環であり、HPICの幅広いネットワークに加え事業資金の提供力・調達力を有効に活用することで、中国における事業展開を本格的かつ円滑に推進していくことを目的としております。

(2) 譲渡株式数、譲渡価額、売却益および譲渡前後の所有株式の状況

- | | | | |
|-------------|---|----|---------------|
| ① 譲渡前の所有株式数 | : | 未定 | ※当社所有割合100.0% |
| ② 譲渡株式数 | : | 未定 | ※当社所有割合の49.0% |
| ③ 譲渡後の所有株式数 | : | 未定 | ※当社所有割合51.0% |
| ④ 譲渡価額 | : | 未定 | |
| ⑤ 売却益 | : | 未定 | |

現在、当社は「極楽湯(上海)沐浴有限公司」を香港子会社の子会社(当社の孫会社)にすべく手続きを進めており、2014年8月下旬にその手続きが完了する見込みです。手続きが完了し次第、株式数、譲渡価額、売却益が確定する予定です。なお、当該取引は、関連当事者間取引に該当します。

(3) 香港子会社の概要

- ①名称 Gokurakuyu China Holdings Limited (中国語名：極楽湯中国控股有限公司)
- ②事業内容 中国における事業展開の統括

(4) 株式譲渡の相手先の概要

- ①名称 Harvest Premier Investment Corporation (「HPIC」)
- ②事業内容 投資持株会社(各種有価証券の投資及び売買)
- ③当社との関係 当社の筆頭株主(持株比率19.64% 平成26年7月30日現在 当社調べ)であります。

(5) 日程

- | | | |
|-------------|---|---------------|
| ① 取締役会決議日 | : | 平成26年7月30日 |
| ② 株式譲渡契約締結日 | : | 平成26年8月下旬(予定) |
| ③ 引渡予定日 | : | 平成26年9月上旬(予定) |